

# 平成25年度事後評価箇所表

担当課〔河川課〕

番 号	3	事業名 (路線・河川名等)	床上浸水対策特別緊急事業 (一級河川 相川・大谷川・泥川)
事業実施箇所	大垣市、垂井町、養老町	全体事業費	(当初5,000百万円) 4,900百万円
採択年度	平成15年度	完了年度	平成19年度
事後評価の実施基準	全体事業費5億円以上で、事業完了後概ね5年経過したもの		
事業目的	<p>一級河川相川・大谷川・泥川において、平成14年7月台風6号の影響による豪雨で洪水が発生し、揖斐川や牧田川の背水影響を受け杭瀬川の水位が上昇し、大谷川洗堰から約25時間にわたって越流したことにより、大垣市荒崎地区を中心に床上・床下浸水合わせて482戸の浸水被害が発生した。</p> <p>本事業は、相川・大谷川・泥川の河川改修を緊急的に実施し、平成14年7月洪水と同規模の洪水が発生しても、家屋への浸水被害が発生しないようにすることが目的である。</p>		
事業概要	<p>相川工区 L=3.2km (築堤嵩上げ・拡幅)</p> <p>大谷川工区 L=4.1km (築堤嵩上げ・拡幅、橋梁1橋、洗堰嵩上げL=110m)</p> <p>泥川工区 L=1.1km (築堤嵩上げ・拡幅)</p>		
概要図	 <p>着手前 平成14年7月洪水 (相川・大谷川・泥川合流地点の浸水状況)</p> <p>完了後 (相川・大谷川合流地点の状況)</p> <p>事業位置</p>		

<p><b>評価結果</b></p>	
<p>① 住民の参加・協働による効果</p> <p>計画段階</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>河川整備計画策定段階における検討会、事業の説明会において流域住民への説明と意見を聴取し、意見を踏まえ工事時期について地域住民に示している。</li> </ul> <p>事業完了後</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート調査の結果では、沿川住民の約44%の方は、河川清掃、草刈を行われており、川との関わりを持たれている。</li> </ul>	
<p>② 事業の効果</p> <p>完了後の被害実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業完了後、大谷川洗堰からの越流は無く、相川・大谷川・泥川の沿川では家屋浸水被害は発生していない。</li> </ul> <p>水位低下効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業着手の契機となった平成14年7月洪水と同規模の洪水に対し、徳山ダムと横山ダムの連携した防災操作、揖斐川、牧田川、杭瀬川の河川改修により、大谷川洗堰地点の水位は、事業着手前（T.P+8.77m）に対して、事業完了後はT.P+8.42m※となり約0.35m水位を低下させるとともに、大谷川洗堰を1.05m嵩上げしたことにより、洗堰からの越流を防ぐことが可能となる。（※水位は計算による推定値）</li> <li>事業完了後に発生した平成24年9月洪水は、平成14年7月洪水に匹敵する規模であったが、大谷川洗堰地点の水位は、洗堰天端高さT.P+8.85mより5cm低いT.P+8.80mまで上昇したものの、大谷川洗堰からの越流は無く、沿川の家屋浸水被害は発生しなかった。</li> </ul> <p>費用対効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(B/C) = 5.5</li> </ul> <p>コスト縮減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>築堤工の盛土材の一部に、他工事からの発生土を流用することで約80百万円の縮減</li> </ul>	
<p>③ 環境面への配慮</p> <p>景観に対する配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>築堤工を盛土構造とし、景観の変化を少なくした。</li> <li>表土に現地発生土を利用し、植物の生育環境に配慮した。</li> <li>アンケート調査の結果では、沿川住民の約46%の方は、現在の河川景観に満足されている。</li> </ul>	

#### ④ 事業を巡る社会経済情勢の変化

- ・事業着手時に比べ人口及び世帯数は、ほぼ変化していない。
- ・浸水想定区域内には、緊急輸送道路に位置付けられている国道21号、主要地方道岐阜垂井線や、JR東海道本線があり交通上重要な路線が存在している。

#### ⑤ 利用者・地域住民等への効果

##### 総合的な満足度

- ・アンケート調査の結果は、次のとおり。

非常に満足している	満足している	どちらともいえない	満足していない	全く満足していない	無回答・無効回答
4%	43%	37%	5%	3%	8%

##### 主な意見の内容

- ・浸水家屋が無くなったのは良いこと。
- ・工事を推進して、水害のない町づくりを。
- ・大谷川洗堰を早く解消してほしい。
- ・平成24年はギリギリのところまで氾濫しなかったが、改修途中である洗堰は、対岸や上下流に比べて低いので、まだまだ不安はぬぐえない。
- ・洪水時に流れを阻害する河道内樹木を伐採してほしい。

#### 対応方針（案）

##### 今後の事後評価の必要性

- ・事業の実施により、平成14年7月洪水と同規模の洪水に対して大谷川洗堰からの越流を防いでいる。
- ・Ⅱ期工事は、さらに堤防嵩上げなどを実施し計画高水位以下で洪水を安全に流下させ、浸水被害を防止できるよう河川改修を行っている。
- ・本事業完了後もⅡ期工事として、引続き河川改修を実施しており、全ての事業が完了した後、改めて事後評価を行うこととしている。

このため、本事業を対象とした今後の事後評価は「今の段階では必要なし」

##### 改善措置の必要性

- ・本事業を対象とした改善措置は、今の段階では必要なし。

##### 新規事業へ適用すべき留意点

- ・流域全体で事業効果を早期に発現させるため、関連事業と連携し段階的な目標設定、重点投資及びスケジュール管理を引続き行う。